

第2回北名古屋市総合計画審議会 会議録

会 議 録																																										
会議名	第2回北名古屋市総合計画審議会会議																																									
日 時	平成29年6月10日（土） 午後1時から午後2時																																									
場 所	北名古屋市役所 西庁舎 4階 大会議室																																									
出席者 及び 欠席者 (敬称略)	出席委員	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td>阿部 久邇夫</td> <td>池山 健次</td> <td>池山 悟</td> <td>伊藤 利明</td> </tr> <tr> <td>犬飼 広昭</td> <td>岩崎 恭典</td> <td>魚住 美沙</td> <td>江口 照美</td> </tr> <tr> <td>大口 有紀</td> <td>太田 稔</td> <td>大野 利彦</td> <td>岡島 直樹</td> </tr> <tr> <td>荻原 雄一</td> <td>金森 淑英</td> <td>河口 牧子</td> <td>古関 初江</td> </tr> <tr> <td>佐藤 要</td> <td>清水 孝司</td> <td>杉野 祐敬</td> <td>杉山 晃</td> </tr> <tr> <td>高田 弘子</td> <td>高取 千佳</td> <td>高柳 利清</td> <td>坪内 まゆみ</td> </tr> <tr> <td>鶴巻 昭</td> <td>寺尾 允良</td> <td>寺田 美千子</td> <td>長瀬 一雄</td> </tr> <tr> <td>丹羽 裕美</td> <td>丹羽 幸雄</td> <td>萩原 周</td> <td>橋本 豊子</td> </tr> <tr> <td>平松 貴美子</td> <td>平松 眞智子</td> <td>松田 弘一</td> <td>松本 正子</td> </tr> <tr> <td>溝口 哲夫</td> <td>宮西 昭夫</td> <td>山田 久倫</td> <td>渡辺 三千雄</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">(40名)</p>	阿部 久邇夫	池山 健次	池山 悟	伊藤 利明	犬飼 広昭	岩崎 恭典	魚住 美沙	江口 照美	大口 有紀	太田 稔	大野 利彦	岡島 直樹	荻原 雄一	金森 淑英	河口 牧子	古関 初江	佐藤 要	清水 孝司	杉野 祐敬	杉山 晃	高田 弘子	高取 千佳	高柳 利清	坪内 まゆみ	鶴巻 昭	寺尾 允良	寺田 美千子	長瀬 一雄	丹羽 裕美	丹羽 幸雄	萩原 周	橋本 豊子	平松 貴美子	平松 眞智子	松田 弘一	松本 正子	溝口 哲夫	宮西 昭夫	山田 久倫	渡辺 三千雄
	阿部 久邇夫	池山 健次	池山 悟	伊藤 利明																																						
	犬飼 広昭	岩崎 恭典	魚住 美沙	江口 照美																																						
	大口 有紀	太田 稔	大野 利彦	岡島 直樹																																						
	荻原 雄一	金森 淑英	河口 牧子	古関 初江																																						
佐藤 要	清水 孝司	杉野 祐敬	杉山 晃																																							
高田 弘子	高取 千佳	高柳 利清	坪内 まゆみ																																							
鶴巻 昭	寺尾 允良	寺田 美千子	長瀬 一雄																																							
丹羽 裕美	丹羽 幸雄	萩原 周	橋本 豊子																																							
平松 貴美子	平松 眞智子	松田 弘一	松本 正子																																							
溝口 哲夫	宮西 昭夫	山田 久倫	渡辺 三千雄																																							
欠席委員	なし																																									
策定委員	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td>副市長</td> <td>教育長</td> <td>統括参事</td> <td>総務部長</td> </tr> <tr> <td>財務部長</td> <td>防災環境部長</td> <td>市民健康部長</td> <td>福祉部長</td> </tr> <tr> <td>建設部長</td> <td>教育部長</td> <td>会計管理者</td> <td>議会事務局長</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">(12名)</p>	副市長	教育長	統括参事	総務部長	財務部長	防災環境部長	市民健康部長	福祉部長	建設部長	教育部長	会計管理者	議会事務局長																													
副市長	教育長	統括参事	総務部長																																							
財務部長	防災環境部長	市民健康部長	福祉部長																																							
建設部長	教育部長	会計管理者	議会事務局長																																							
作業部会員	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td>総務部次長兼総務課長</td> <td>総務部副参事兼経営企画課長</td> </tr> <tr> <td>財務部次長兼財政課長</td> <td>財務部副参事兼収納課長</td> </tr> <tr> <td>防災環境部次長兼防災交通課長</td> <td>防災環境部副参事兼環境課長</td> </tr> <tr> <td>市民健康部次長兼健康課長</td> <td>福祉部次長兼高齢福祉課長</td> </tr> <tr> <td>建設部次長兼都市整備課長</td> <td>建設部副参事兼商工農政課長</td> </tr> <tr> <td>教育部次長兼生涯学習課長</td> <td>教育部副参事兼学校教育課長</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">(12名)</p>	総務部次長兼総務課長	総務部副参事兼経営企画課長	財務部次長兼財政課長	財務部副参事兼収納課長	防災環境部次長兼防災交通課長	防災環境部副参事兼環境課長	市民健康部次長兼健康課長	福祉部次長兼高齢福祉課長	建設部次長兼都市整備課長	建設部副参事兼商工農政課長	教育部次長兼生涯学習課長	教育部副参事兼学校教育課長																													
総務部次長兼総務課長	総務部副参事兼経営企画課長																																									
財務部次長兼財政課長	財務部副参事兼収納課長																																									
防災環境部次長兼防災交通課長	防災環境部副参事兼環境課長																																									
市民健康部次長兼健康課長	福祉部次長兼高齢福祉課長																																									
建設部次長兼都市整備課長	建設部副参事兼商工農政課長																																									
教育部次長兼生涯学習課長	教育部副参事兼学校教育課長																																									
事務局	経営企画課職員5名																																									
傍聴人	なし																																									

第2回北名古屋市総合計画審議会 会議録

内容	<ol style="list-style-type: none">1 会長あいさつ2 議題<ol style="list-style-type: none">(1) 各部会における審議結果の報告について(2) 第2次北名古屋市総合計画 素案について3 その他<ol style="list-style-type: none">(1) 会議録の確認について(2) 次回の会議について
----	---

第2回北名古屋市総合計画審議会 会議録

発言者	審議内容
総務部次長	<p>■開会</p> <p>本日は、大変お忙しい中、ご出席いただきましてありがとうございます。只今より、第2回北名古屋市総合計画審議会を始めさせていただきます。</p>
総務部次長	<p>1 会長あいさつ</p> <p>審議に入ります前に、岩崎会長より、ごあいさつをいただきたいと存じます。</p>
会長	<p>皆さん、こんにちは。梅雨の晴れ間という時にお集まりいただきまして、ありがとうございます。前回の会議から2週間が経過しました。人口ビジョンについての説明や、各部会に分かれていただき、それぞれの分野について審議をしていただきました。分野別計画について、様々なご意見をいただき、この2週間という短い期間に、市の回答がまとめられ、本日、委員の皆さんに、事前配布資料①としてお届けしていることについては、たいしたものだと思っております。こういう形で徐々に総合計画を形にしていければいいなと思います。本当に多くのご意見がありますが、限られた時間でありませけれども、前日も申し上げましたとおり、2025年、2040年、2101年と、本当に様々な課題を抱えたまま22世紀までいけるかということの頭の片隅に置きながら、市民の皆さんが北名古屋市を、この10年をどういうまちづくりを進め、次の世代に渡していけるか、そういう総合計画を皆さんと一緒に作りあげていきたいと思っております。</p> <p>本日は、前回3つの部会に分かれて協議いただいたこと、その情報を共有させていただきます。そして、改めてご議論をいただく項目は、また3部会に分かれていただき議論を深めていただきたい、そういう段取りになります。</p> <p>本日も、また半日の時間を使つての議論が予定されており、申し訳ございませんが、ぜひ、将来の北名古屋市のために、議論していただければと思います。どうか、よろしく願います。</p>
総務部次長	<p>ありがとうございました。</p> <p>これより、議事の進行につきましては、岩崎会長に議長を務めていただきますので、よろしくお願います。</p>
会長	<p>本日の欠席委員は、ございません。1名遅刻されるとの報告を受けております。北名古屋市総合計画審議会条例第6条の規定により、出席委</p>

第2回北名古屋市総合計画審議会 会議録

総務部次長	<p>員が過半数に達しておりますので本会は成立します。 では、事務局、本日の配布資料を確認してください。</p> <p>本日の配布資料を確認させていただきます。 「次第」、「北名古屋市総合計画審議会委員名簿」、事前に配布させていただきました「6月10日資料①」、本日机上配布させていただきました「6月10日資料②」、会議録の確認について、第2回審議会部会の通知文の以上、6点でございます。 資料が不足されている方がみえましたら、恐れ入りますが挙手をお願いします。係が資料をお持ちしますので、よろしくをお願いします。 また、第1回会議の説明で使用した資料3点、「資料1」、「資料2」、「資料3」の資料を本日ご持参していただくようお願いしておりましたが、もし、お持ちいただいていない方がみえましたら、恐れ入りますが挙手をお願いします。</p>
会長	<p>併せて資料1・2・3、桃色、黄色、水色の表紙の資料をご確認いただけましたでしょうか、よろしいでしょうか。では進めます。</p>
会長	<p>2 議題 (1) 各部会における審議結果について さっそく議題に入りたいと思います。 本日の会議の目的は、前回、各部会に分かれて審議をしていたいだ結果について、その情報を共有するというのが目的の1つです。それでは、まず事務局からご説明いただきましょう、お願いします。</p>
総務部次長	<p>第1回審議会終了後、3つの部会に分かれて、会議を開催しました。各部会においては、最初に部会長及び副部会長を決定しました。なお、部会別の名簿については、本日机上に配布させていただきました「北名古屋市総合計画審議会委員名簿」をご覧ください。ここで、部会長と副部会長のお名前を発表させていただきます。 福祉教育部会の部会長に「池山」委員、副部会長に「高柳」委員。建設部会の部会長に「長瀬」委員、副部会長に「杉野」委員。生活部会の部会長に「丹羽」委員、副部会長に「大野」委員に決定しましたことをご報告させていただきます。 続きまして、各部会の審議事項について、ご報告させていただきます。 各部会とも、部会長の取り回しのもと、担当分野の各施策の「現状と課題」を事務局が説明し、施策の内容等にご意見がある場合について、意見書の提出をお願いしましたことをご報告させていただきます。</p>
会長	<p>各部会とも、第1回審議会終了後の時間において、ご意見やご審議を</p>

第2回北名古屋市長総合計画審議会 会議録

<p>福祉教育部 会長</p>	<p>いただきました。どうもありがとうございました。</p> <p>それでは、各部会の部会長さんから第1回部会の審議結果につきまして、部会順にご報告をいただきたいと思います。最初に福祉教育部会の池山部会長、お願いできますでしょうか。</p>
<p>福祉教育部 会長</p>	<p>福祉教育部会の部会長の池山でございます。第1回福祉教育部会の審議結果の概略を説明いたします。</p> <p>福祉教育部会では、「健康・福祉分野」の6施策と、「教育・文化分野」の4施策を担当します。先程、事務局から説明がありましたとおり、各施策の「現状と課題」について説明を受け、各施策を取り巻く状況の共通認識に務めました。</p> <p>なお、限られた時間の中ではありましたが、各委員から、気になった分野についての意見を発表するとともに、事務局に対し、質問として発言した事項については、教育長を始め、出席職員より回答を得ました。</p> <p>会議の中で出された意見の一部を紹介すると、「福祉教育部会」は、「福祉」と「教育」の事業の連携による課題への対応が必要といった意見。また、「子どもと高齢者の対策」へのアプローチが良く似ているため、連携して包括的な対応を検討していくことが必要ではないか等の意見がありました。以上、福祉教育部会の報告を終わります。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございました。第1回審議会での意見にもありましたが、施策は横に連携していかないといけないという意見がありました。それを受ける形で、確かに福祉教育部会では、福祉と教育の連携、高齢者と子どもの分野での連携、そういった政策を展開するにあたっての視点を中心に、前回、ご議論いただいたようであります。ありがとうございました。</p> <p>それでは続きまして、建設部会の長瀬部会長よろしく申し上げます。</p>
<p>建設部会長</p>	<p>建設部会の部会長の長瀬でございます。第1回建設部会の審議結果の概略を説明いたします。</p> <p>建設部会では、「都市基盤分野」の5施策と、「産業活力分野」の3施策を担当します。事務局から各施策の「現状と課題」について説明を受け、各施策を取り巻く状況の共通認識に務めました。</p> <p>なお、限られた時間の中ではありましたが、各委員から、気になった分野についての意見を発表するとともに、事務局に対し、質問として発言した事項については、副市長を始め、出席職員より回答を得ました。</p> <p>会議の中で出された意見の一部を紹介しますと、「建設部会」は、市民の安心安全に直結する「道路整備」の適切な対応が必要といった意見、また、「企業誘致」と「市内企業の活性化」両面での対策がまちの活力</p>

第2回北名古屋市総合計画審議会 会議録

	<p>づくりには必要であるため、どちらか一方ではなく両面からの対応を検討していくことが必要ではないか等の意見がありました。</p> <p>以上、建設部会の報告を終わります。</p>
会長	<p>ありがとうございました。建設部会は、市民の安全安心の確保というのが最重要課題で、道路整備について、この2つが前回の議論で大きく、委員の皆様の課題を反映する形で議論をした、そういうご報告をいただいたところでもあります。</p> <p>それでは、最後に生活部会の丹羽部会長お願いいたします。</p>
生活部会長	<p>ご無礼いたします。生活部会の部会長を務めています、丹羽と申します。よろしくお願いいたします。</p> <p>生活部会でも、これまでご報告があったように、まず概略の説明を受けたわけですが、生活部会は「安全・環境分野」の5施策と、「協働・行財政分野」の5施策を担当します。事務局から最初に説明を受け、現状と課題についての共通認識に努めたところでございます。</p> <p>その後、各委員から、防犯関係、大学との連携等につきまして質問がございましたので、出席職員の各部長からそれぞれ解答を受けました。また、総合計画に関する市民アンケートの結果では、重要度が高く、満足度が低いとされた交通安全や防犯の分野について、よく検討する必要があるということを再確認したところでございます。</p> <p>また、6の分野の「協働・行財政」については、全施策に「協働の考え方」が述べられており、「協働」と「地域コミュニティ」の関わりを、頭の中のイメージとしてはある訳ですが、現実に活動するとなると大変難しいところがあるため、そういった面で議論をさらに深めていく必要があるのではないかというようなことを思っております。簡単ではございますが、生活部会の報告をさせていただきました。</p>
会長	<p>ありがとうございました。生活部会から、大学との連携、そして、交通安全と防犯が最重要課題として、これから議論していかななくてはならないという認識を共有したことが、最後にご説明がありましたが、協働を進めるにあたっての地域コミュニティのあり方、これはずっといろいろな形で、北名古屋市でも検討をいただいている部分でもあります。第2次総合計画では、協働をしっかりと確認していけるようなプロセスが必要かと私も思っております。</p> <p>どうか、委員の皆さん、議論を深めていただきたいと思います。</p> <p>各部会における審議結果についてのご報告をいただきましたが、何かご質問ございますでしょうか。</p> <p>なお、議事録を作成する必要があるでございますので、発言いただく場合に</p>

第2回北名古屋市長総合計画審議会 会議録

	<p>はお名前をおっしゃっていただいてからご発言いただきたいと思えます。</p> <p>本日、この審議会が終了後、また部会に分かれて分野ごとに審議いただくわけですが、所属部会以外の分野についても、ご意見をいただける説明をさせていただきます。何かご意見がございましたらご発言ください。</p>
委員	(意見なし)
会長	それでは、次の議題に進めさせていただきます。
会長	<p>2 議題 (2) 第2次北名古屋市長総合計画 素案について</p> <p>議題(2)でございます。第2次北名古屋市長総合計画の素案について、序論、基本構想、総論について、ご審議をいただきたいと思えます。</p> <p>まず事務局から説明をいただきたいと思えますが、前回の会議から2週間が経過しておりますが、その間にたくさんのご意見をいただきました。当初のスケジュールで言いますと、本日、この序論と総論の部分については、ある程度形を決めていくということも考えていたのですが、何分委員の皆さんからたくさんのご意見をいただいております。また、後ほどの説明となりますが、市議会から意見をいただいております。これらを含め、本日の部会でもいろいろとご意見をいただくことになると思えます。こうなりますと、当初のスケジュールでは、本日、総論の部分について形としてまとめるというスケジュールでしたが、文案をしっかりと詰めて、次の審議会の際に、文案を事務局から提案いただくということしたいと思っております。</p> <p>委員の皆さんからたくさんのご意見をいただいております。本日は、総論、序論、基本構想等について、ここで決めてしまうということはないという前提で、事務局からの説明を受けたいと思えます。それではお願いします。</p>
総務部副参事	<p>前回の審議会において、総合計画素案の序論、基本構想、総論を説明いたしました。委員の皆様からいただきました意見と、その対応の方向性について説明いたします。「6月10日資料①」と「6月10日資料②」をご覧ください。</p> <p>委員の皆様には、非常に短い期間の中で多数の意見を提出していただき、ありがとうございました。意見、質問、具体的な事業アイデアなど意見件数として、委員の皆様から156件、市議会から65件いただきました。</p> <p>この意見につきましては、部会に関わる部分については、本日、審議</p>

第2回北名古屋市長総合計画審議会 会議録

会終了後に開催させていただき各部会にて、議論を深めていきたいと考えておりますが、序論、基本構想、総論や全体に関わる部分について説明いたします。

まずは、「6月10日資料①」の第1回総合計画審議会の質疑・意見と回答をご覧ください。前回の審議会において、9つの質疑・意見があり、計画文案に関わるご意見としてNo.7の男女共同参画の推進など「女性の活躍」に関する言葉が分野別まちづくり方針に必要とのご意見がありました、これにつきましては、資料2の総論の7ページ「6つの分野別目標(6) 協働と連携のまちづくり」に文言を追加修正します。

同じく、「6月10日資料①」の裏表紙となる30ページをご覧ください。委員の皆様から計画全体に関わる意見が9件あり、計画の文案に関わるご意見としてNo.3「協働の考え方がなぜ今回の計画に必要か」の説明が必要という意見がありました。これについては、資料1の序論の14ページ「第5章 社会動向 5 地域運営の重要性の計画に求められる視点」に協働の必要性を加筆し、修正します。

続いて、本日机上配布しました「6月10日資料②」の1ページから7ページをご覧ください。市議会からは、序論、基本構想、総論に関わる意見が30件ありました。文案に関わる意見として2ページのNo.8「予算の限りもある中で、選択と集中を進める考え方」が必要ではというご意見があり、資料2の7ページ(6)協働・行財政分野のまちづくり目標に文言を加筆するよう今のところ考えております。

また、「6月10日資料②」3ページのNo.9、10、11の将来人口の推計についてですが、現在北名古屋市の人口が85,000人を超えているため、もう少し人口が増えるのではないかとご意見がありましたので、現在お示ししている2016年策定の市人口ビジョンの推計以外に、市独自の推計をお示しします。

これらの修正については、次回の審議会に文案を提出させていただきますのでよろしくお願ひします。

会長

序論と基本構想、そして総論の部分、審議会委員の皆さんからいただいた意見、市議会から提出された意見に基づき、文案の修正箇所について説明がありました。

それをどういうふうに入れ込むかということは、次回、具体的な文案で皆さんにお話するということでしたが、最後に説明のありました市人口ビジョン。これから10年間の間に北名古屋市の人口がどれくらい伸びるのか、伸びればよいと思いますが、それをどの程度見込むのか等について、再度、市独自の推計を行い、改めてこの審議会に提出いただくという説明でした。

私も、北名古屋市長人口ビジョン、地方創生総合戦略を策定する前提と

第2回北名古屋市長総合計画審議会 会議録

	<p>しての人口ビジョンを議論する場に参画しました。実は、この人口ビジョンは、地方創生のための前提として作るというものであり、合計特殊出生率を1.8にする。そして、人口は置き換わるであろう2.04にする、というようなことが国からパッケージ構想で配置されているのです。それをベースに検討せざるを得なかったというのが人口ビジョンでの人口推計でした。総合計画では、今後10年間を見据える上で、再度の見直しを行い、そして、施策の基本になる北名古屋市の人口の推移を推計し、次回の審議会で提出したいという説明だったと思っております。</p> <p>本日、序論、基本構想、そして総論の部分についての意見への対応をいただいたということではありますが、今の説明について、何か質問ございますでしょうか。</p>
委員	(質問なし)
会長	<p>それでは、資料1の序論、基本構想、それから資料2の総論について改めてご意見をお伺いします。先ほども申し上げましたけれども、策定スキームの説明が第1回にありましたが、資料1の序論と基本構想、それから人口、土地利用、分野別まちづくり方針について、しっかりと審議をしていただくという意味では、今日が最後となります。</p>
	<p>ただ、ここで確定させる訳ではなく、各部会でいただいた様々なご意見がある程度反映させる中で、またこの序論、基本構想というものもお諮りする必要があるだろうと考えておりますが、まずは、意見があればご発言いただきまして、文案に反映させるかの検討を行い、大筋文案を確定したいと考えております。資料1と資料2、桃色と黄色の表紙の資料について、改めてご意見をいただきたいと思っております。何かございますでしょうか。</p> <p>どうぞ、ご発言ください。</p>
A 委員	<p>質問と意見があります。「6月10日資料①」29ページについて、「大学・企業との連携」という項目について、対応の方向性に、「総合計画への反映は時期尚早と考えます。」と示されておりますが、この総合計画というのは、次の会議で結論を出すということですか。</p>
会長	<p>今、議論していただければ良いです。</p>
A 委員	<p>「時期尚早と考える」とは、結論ではない、ということですか。総合計画は10年先までの計画であり、提出した意見は10年の間に起こり得る事柄でもあると思っております。時期尚早という意味合いが分からない</p>

第2回北名古屋市長総合計画審議会 会議録

会長	<p>いので、まず質問です。意見は回答を得てから出したいと思います。</p> <p>生活部会に関する意見ですが、総合計画への反映が時期尚早という回答を、どの様に考えればいいのかというご質問です。事務局お願いします。</p>
総務部副参事	<p>今のご意見については、生活部会でご審議いただく内容となりますので、部会で詳しくご説明させていただきます。</p> <p>資料が多く、分かりづらくて申し訳ありませんが、審議会では、資料1の桃色の表紙の資料と、資料2の黄色の表紙の資料についての審議をお願いします。</p>
会長	<p>ご意見については、連携のパートナーとして重要な部分ですが、部会で詳しくご審議いただければと思います。</p> <p>では、資料1と資料2について、委員の皆さんからいただいた意見、市議会から提出された意見をもとに、序論、基本構想、総論部分、将来人口について、再度見直すことを前提に、委員の皆さんにご意見をいただけたらということでもあります。いかがでしょうか。</p> <p>どうぞ、お願いいたします。</p>
B委員	<p>前回出席できなかったため、少し申し上げたいと思うことがあります。基本構想、基本理念の中に、北名古屋市長が目指すべき都市の姿というのがもう少し、市民の方たちが自分たちの目指す先はこういうことだというような、キャッチミたいなものが、もっといるのではないかと思います。</p> <p>この基本構想、基本理念には、現行の総合計画と大差がありません。そこがちょっと気に入らないところです。新しい市民を加えてということは、10年前ですから若い人たちが入っている訳です。高齢者の人たちが、こんなに自分たちの社会活動をし、地域に貢献しているという時代は今まで無かったことだと思います。そういう様なことを、北名古屋市長はどういう風に進めていくのか、もっと力強く言うべきではないかという感じがしてなりません。そうすると、ここに書いてありますが「連携」とか、「公共」とかいう様な時に、何かと連携させていくのが北名古屋市長らしいのだという様なことが欲しい。</p> <p>もう一つ、北名古屋市長は「都市と農村」といった、田園と都市とを連携させていく大変美しい街だという風に私は思っていますが、そういうような何か希望に満ちた、期待に溢れたということが構想や理念の中に無いと、後の所は枝葉末節と言いましょか、細かいことを並べていくことになって、そういうのは行政の手法だと思います。行政マンが考えるとそうなるだろうと思います。だから、できれば審議会は、目指すべ</p>

第2回北名古屋市長総合計画審議会 会議録

会長	<p>き都市の姿をやっぱり何かの形で求めて行って欲しいと思います。</p> <p>ありがとうございます。前回の審議会でも確かに連携という言葉が非常に重要だというのは出ておりました。そうしますと、そこから、基本構想をもう一度見直した時に、補足にありましたように、何と何を具体的に連携していくのかということをもう一步踏み込んで書き込むことができないだろうか。それが力強く、そしてこの10年の間に入られた新しい住民の方も含め、今後の10年を、まさに連携して新しい北名古屋市にしていくという意味を、この基本構想、基本理念の所で示すことが出来ないだろうかというようなお話でありました。</p> <p>今の点について、事務局から何かございますか。</p>
総務部長	<p>今、B委員からお話いただきましたことに関して、非常に重要であることであるとは認識しておるところでございます。連携であるとか、あるいは都市と農村の共存していくビジョン、そういった踏み込んだことに関しては、今後、施策の中で検討していきたいと思っております。</p> <p>この基本構想の部分では、市民の方たちを対象にした意識調査、ここから出てきたものを3本の柱で挙げたということでございます。また、ご意見をしっかり踏まえたいうえで、改めてご回答をさせていただきますが、今のところ3本の柱というのは、市民の意識調査結果から作り出してきた柱であるということをご理解いただきたいと思います。</p>
会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>B委員、何かございますか、どうぞ。</p>
B委員	<p>市民意識調査の方法について、それは項目を出して、それを選択させるとなっているので、その選択肢の中に無いのです。生き生きとした若者は選べないと思う、その部分なのです。</p> <p>私は、もっとそういうような新しい姿というか、未来を担う青年や若者、それから高齢者の人たちに、何をメッセージとして送るかということをもっと最初に言われましたよね、その所だと思います。しかし、そのようなことは市民意識調査の中に無いのです。よって、市民意識から出てきたということだけで総合計画は作るべきではなくて、市民の意見を尊重しつつ、やはり専門家なり、行政マンというのは施策立案の専門家の筈ですので、そういう人たちがアイデアを出してやるべきではないかと思いますが、考えていただけるならいいです。</p>
会長	<p>それも踏まえて、基本構想について他にございますでしょうか。</p> <p>先ほどの繰り返しになりますが、基本的には156件のご意見をいた</p>

第2回北名古屋市総合計画審議会 会議録

	<p>だき、そして多くの部分は部会でそれぞれ問題を共有している訳であります。総論の部分については先ほど事務局から説明がありましたとおり、市議会からの提案事項も含め、改めて文案として、委員の皆さんに提出させていただくということになります。冒頭に申し上げましたが、これから部会に分かれいろいろとご議論をしていただきますが、その議論の中で、改めて総論、あるいは基本構想の部分に反映させなければならないということがございましたら、それも含め文案を決定していただくことになるだろうと思います。</p> <p>いかがでしょうか、よろしいでしょうか。C委員どうぞ。</p>
C委員	<p>資料2の6ページの健康福祉分野ですが、市民の方から、北名古屋市は医療の部分で、小学生は有料、しかし近隣市町は、中学生まで無料、だから居住はそちらを考えているというお話を出されました。前回もここでお話をさせていただきましたが、北名古屋市は、小学校の子ども・子育ての教育というところは、小学校や中学校に行っている子どもを持つお母さんは結構分かっている部分もあるのですが、やはり若いお母さん達は、初めての子どもだったりすると、医療費の部分しか考えていらっしゃる場所があります。ただ無料だという部分だけに考えて、一宮市や小牧市を考えているというお話をされましたので、ちょっともったいないと感じています。</p> <p>北名古屋市のお母さんたちは、教育の部分ですごく充実をしているというお話はされますが、学校に入ってからでないといけないという部分がもったいないと思いましたので、お話をさせていただきました。</p>
会長	<p>ありがとうございます。おそらくそれはPRの仕方の問題ですね。これは、よく言われる話ですが、都市間競争がすごく言われていて、特に若い方々によく知らせる、それはPRの機会だと思っています。その時に、北名古屋市中に居れば取組の良さ、外からは医療費は分かりやすい。居住地を選択する際に、「北名古屋市のここが良い」という活かし方が、これからは必要になるのではないかというご意見だと思います。</p> <p>これはPRですが、言われてみれば、分野別というよりも行財政としてのPRというような部分で少し考えなければならないのかなと思います。全体、またそういう部分が抜けがちなということご指摘でしたので、配慮して活かしたいと思います。ありがとうございました。</p> <p>他にございますでしょうか。D委員</p>
D委員	<p>私は、「協働」という言葉を20年近く胸に抱きながら行政と関わってまいりました。ただ、行政と町民・市民の協働という意味でスタート</p>

第2回北名古屋市総合計画審議会 会議録

会長	<p>したものですから、今は市民協働ですね。そこへ行き着くのに戸惑いというのか、この審議会と並行し、今、ワークショップを開催されていますが、本当に積極的に参加しようということで3回関わりました。そこへ参加される方は、本当に市民協働ということを受け止めて出られる方と、やはり戸惑いを感じて出られる方がおみえになります。ぜひ、ワークショップに出ていただけると、これからの人たちのまちづくりというのか、もう私たちは本当に若い方にお世話になる、そういう意識は十分に持っていますので、お勧めしたいと思います。市民協働という言葉で、正直、財政難は来ているわけでしょうね、お願いいたします。</p> <p>ワークショップに、ぜひご参加いただきたいという要請と、私も思いますが、市民協働という言葉、市役所にお金がないから市民協働と言ったら、これは、僕は市民の皆さん怒るしかないだろうと思います。そうではなくて、行政は本来、お金を使う必要があることには使わなければならない。ところが、それを今までの様に何でも市はやりますよ、という形での使い方はもはやできない。だから、市もどれだけ財政が苦しくなってもこれだけはやります、ということは市が税金を使ってやります。ただ、それ以外に、かつて潤っている時にいろいろなものを抱え込んでしまった中で、それは市がサービスをやってきたので、本来これは市がやるべき仕事だったのだろうか、という見直しをした上で、「では、これは市民の皆さんにも参加してやっていただけないだろうか。」ということが、市と市民の間の協働の話になっていくのだろうと思います。それとともに、今、ご指摘がありました様に、やはり今のこの世の中、絆とかふれあい、そういうものが急速に失われたという時代の状況があります。そういう中からいくと、「市民が市民と協働して何かやっていく」という民・民の協働というのも非常に大きな話だと思います。ですから、協働という言葉の中には、「市と市民の協働」もあれば、今、ご指摘いただいたように「市民と市民の協働」というものもある。そうすると、市民と市民の協働をどう作っていくのか、という中でワークショップというのは1つの大きな手法だろうと思いますし、ぜひ、そこにご参加いただいて意見を言うだけではなくて、知り合いをつくっていただいて、そして何か一緒にやっていけることがあれば、という風になっていけば変わっていくと思います。</p> <p>そういう仕組みを、今後、これは総合計画を策定する一つの手法としてワークショップがありますが、それ以後も継続的に総合計画を核として実現していくために、民・民の協働を促進していくような方法、方策というの必要になっていく部分だろうと思っています。そんな仕組みが何らかの形でできればいいなと思いますが、今後もいろいろご検討をいただければと思います。ありがとうございました。</p>
----	--

第2回北名古屋市長総合計画審議会 会議録

委員	<p>他にはいかがでしょう。</p> <p>(意見なし)</p>
会長	<p>よろしいでしょうか、そうしますと先ほども申し上げましたが、本日決めるという訳ではありませんが、今いただいたご意見、それから部会でいただいたご意見の中で総論、序論、基本構想に反映させていかなければいけない部分については整理し、次回の審議会ですべて具体的に文案を決定していこうと思っております。</p> <p>それでは、議題はここまでとします。</p>
会長	<p>3 その他</p> <p>その他について、事務局からご説明いただきたいと思っております。</p>
総務部副参事	<p>3点お願いさせていただきます。</p> <p>1点目「会議録の確認について」</p> <p>本日、机の上に配布させていただきました「会議録の確認について」依頼をご覧ください。第1回審議会の会議録の内容をご確認いただきまして、修正すべき点がございましたら、6月16日(金)までに、事務局へ連絡をお願いします。</p> <p>修正点等を調整した会議録を岩崎会長に確認していただいた後、ホームページにて会議録を公表します。なお、公表にあたっては、委員名を伏せて公表させていただきますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>2点目「次回の審議会について」</p> <p>本日、机の上に配布いたしました7月の会議の通知文をご覧ください。</p> <p>7月の会議は、部会別に開催させていただきますので、よろしくお願いいたします。なお、次回の審議会の会議は、8月7日(土)に開催させていただきますが、開催通知文については、改めてお渡しさせていただきます。</p> <p>3点目「部会の開始時間の連絡」</p> <p>この後、午後2時15分より、始めさせていただきます。引き続きの会議となりますが、ご協力よろしくお願いいたします。</p>
会長	<p>ただ今の説明につきまして、ご意見・ご質問ございますでしょうか。</p>
E委員	<p>今の会議録の確認と会議の関係ではありませんが、部会において、まちづくりワークショップを第7回までの案内をいただきました。ここに私、第2回目の6月6日に出席したのですが、そこに出ている内容が審議会の資料のページにもあります。それに基づき、沿ったいろんな意見</p>

第2回北名古屋市長総合計画審議会 会議録

<p>総務部副参事</p>	<p>を述べ、まとめる形になっています。このまちづくりワークショップと、総合計画、これが関係あるのか、また、総合計画に活かされるのか。または、全く関係が無く遊びとしてワークショップをやっているのか、その辺をお聞かせいただきたいと思います。お願いいたします。</p>
<p>総務部副参事</p>	<p>委員の皆様は資料でお示ししております資料3に「協働の考え方」というのを掲載しております。この「協働の考え方」というのは、以前にも市民でワークショップをしたところから意見をいただき、この各施策についてどういった市民の役割、地域団体、事業所等の役割があるかということを検討し、文面にしております。それについて、文面は行政が作ったものですから、その部分をお話しした上で、あくまでもそれに補足するような形で市民の方に納得いただかないと、この考え方というのが本当に希薄なものになってしまいます。今、その部分を埋めるような作業でワークショップをやっています。ワークショップ終わりましたら、また報告させていただきますので、活かせる部分がありましたら、いろんな部分に活かしたいと思いますので、よろしくお願いします。</p>
<p>会長</p>	<p>よろしいでしょうか。どうぞ。</p>
<p>B委員</p>	<p>ちょっとやり方がおかしいのではないかと思います。ワークショップは、5月28日から始まっていますよね。6月6日まで終わりましたが、このテーマが「協働行政分野」、このテーマがあるのに、このテーマを担当している審議会のメンバーは、出席しなければおかしくないですか。だから、事務局がいつもまとめたものを貰うのでは、間接的なので、やはり声をきちんと聴いて、これはどうして、こっちはこっち、あっちはあっちってやるのです。</p>
<p>会長</p>	<p>どうでしょう、総合計画とワークショップとの関係についてです。</p>
<p>総務部副参事</p>	<p>基本的に「協働の考え方」ということについて、文案を固めていただくのは審議会であると思っております。今、ワークショップでやっていますのは、文案にある「考え方」に基づき、「市民や団体は何ができるか。」を考えてもらい、行政だけが考えた「考え方」ではなく、市民がその考え方に賛同し納得してもらおう取組として実施しております。</p>
<p>E委員</p>	<p>まあそれはそれとして、やっている内容と、説明されていることが、どうも違うように感じています。</p>
<p>会長</p>	<p>はい、そこはちょっと市で整理していただく必要がある部分でもあり</p>

第2回北名古屋市総合計画審議会 会議録

	<p>ます。先ほどご発言がございましたが、できればワークショップに、この審議会の皆さんも参加のお誘いがありましたので、ぜひ、時間があればご参加いただければと思います。</p> <p>他に何かございますか。</p>
D 委員	<p>総合計画の審議会資料に前回のワークショップが、まとめとして資料が提出されております。今、開かれているワークショップも、ぜひ、まとめとして、私たちに資料提供をしていただきたいと思います。</p>
総務部副参事	<p>完了しましたら資料提供を予定しておりますのでよろしくお願いいたします。</p>
会長	<p>はい。いかがでしょう、他にはございますでしょうか。</p>
委員	<p>(意見なし)</p>
会長	<p>よろしいですか。それでは以上で審議会を終了といたします。</p> <p>なお、先程、事務局より説明がありましたとおり、この後、各部会に分かれて会議がありますので、引き続きのご協力よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、第2回審議会については、これで終了と致します。</p> <p>長時間に亘り、ご協力ありがとうございました。</p>